



## 第58回光学薄膜研究会開催のご案内

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は本研究会活動に対し格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本研究会では2026年度第1回光学薄膜研究会及び、2026年度第1回光学薄膜入門講座を機械振興会館にて下記の通り開催することを決定致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆日時 : 2026年4月21日(火曜)
- ◆場所 : 機械振興会館 6F 66-67  
(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 )

### 1. 第5回光学薄膜入門講座 (10:00~12:00)

申込方法 : 後述の参加申し込みフォームより入力ください  
(定員50名 先着順)

会場 : 機械振興会館 6F 6D-4

会場受付 : 9:45~10:00(事前申込がない場合は参加できません)

参加費 : 2,000円/人

**※講演内容は昨年度の第1回入門講座と同様の内容になります。  
昨年度は研究会会員様のみ限定させて頂きましたが、  
今年度からは非会員の方にもご参加いただけます。**

プログラム : 講座『光学薄膜のための光学の基礎』(10:00-12:00)

東海大学 情報理工学部 情報科学科 室谷 裕志 氏

光学薄膜を成膜する上で光学の知識として最も必要なのは光学干渉(波動光学)の理解であるが、光学薄膜の評価や仕様を考える上では光、眼(生理光学)、幾何光学、量子光学、真空技術、光物性、材料力学等の幅広い知識が必要である。本講座では光学薄膜の理解に必要な光(色彩)、幾何光学の基礎について説明する。

### 2. 第58回光学薄膜研究会 (13:30~17:00)

申込方法 : 後述の参加申し込みフォームより入力ください  
(定員168名 先着順)

会場 : 機械振興会館 6F 66-67

会場受付 : 13:00~13:30(事前申込がない場合は参加できません)

参加費 : 【会員】 無料(法人会員、個人会員)  
但し、法人会員3名/口まで

【非会員】 8,000円/人

### 3. 懇親会 (17:10~19:10)

- ・ 申込方法：後述の参加申し込みフォームより入力ください
- ・ 会場受付：研究会参加の方は研究会会場受付にて行います。  
懇親会のみ参加の方は懇親会場にてお願い致します。  
(事前申込がない場合は参加できません)
- ・ 参加費：6,000円/人
- ・ 場所：The Place of Tokyo (機械振興会館の隣)  
<https://place-tokyo.com/>
- ・ 備考：基本的に締め切り後からキャンセル料が発生いたします



### 4. 【研究会プログラム】

#### 4.1 代表挨拶 (13:30-13:35)

東海大学 情報理工学部 情報科学科 室谷 裕志 氏

#### 4.2 『ゾル-ゲル法による低屈折率・低散乱な多孔質シリカ薄膜の作製と反射防止膜用への応用』 (13:35-14:20)

株式会社ニコン 鈴木 涼子 氏

反射防止膜の性能向上は光学機器の利用において非常に重要な課題である。本講演では光学薄膜として工業的に生産および利用可能な低屈折率かつ低散乱な多孔質薄膜のゾル-ゲル法による作製プロセスについて説明する。

#### 4.3 『相反する機能を1つの表面に並立させる表面処理技術』 (14:20-15:20)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 上級主任研究員 穂積 篤 氏

ガラスのような親水性基板上の水滴は、表面の水酸基と水分子間に形成される強い水素結合により、ぬれ広がって滑水しにくい。そのため、従来は、表面自由エネルギーの小さいフッ素化合物を含有する官能基やポリマー鎖を高密度 (solid-like)

に充填した表面状態を作り出すことが液滴除去に最も有効であると広く信じられてきた。本講演では、これまでの発想とは対極に位置する新たなアプローチとして、従来、親油性（例えば、アルキル基）や親水性（例えば、PEG 基）を示すと考えられてきた官能基を疎な状態（liquid-like）で表面に配置し、その駆動性を活用することで、環境負荷の大きなフッ素化合物に依存することなく、各種基材表面に優れた液滴除去機能を付与することを可能にするこれまでにない表面処理技術について紹介する。

===== 休憩（15:20-15:30） =====

#### 4.4 『AR/VRガラスの最新動向』（15:30-16:15）

一般社団法人光融合技術協会 理事 生水利明 氏

ここ数年、AR/VR ガラスの製品化が急速に進み、市場の注目を集めている。その背景には、スマートフォン市場が成熟期に入り、かつてのような大きな技術革新や市場拡大が見えにくくなってきたことがある。その結果、スマートフォンに代わる次世代モバイルデバイスとして、AR/VR ガラスへの期待が急速に高まっている。その象徴的な出来事が、Meta が2年前に発売した Ray-Ban Meta グラスである。この製品は市場の予想を大きく上り、200万台以上を販売するヒットとなった。この成功は業界に強いインパクトを与え、これまで様子見をしていた企業の参入を一気に加速させる契機となった。現在、AR/VR グラスは次世代コンピューティングプラットフォームの有力候補として、世界中の企業が開発競争を繰り広げる段階に入っている。本稿では、こうした背景を踏まえ、AR/VR グラスの最新動向について解説する。

#### 4.5 『企業紹介（仮）』（16:15-16:30）

#### 4.6 『グループディスカッション報告』（16:30-16:45）

今年1月の研究会で行ったグループディスカッションの発表内容を報告させていただきます。

#### 4.7 事務局からのご案内（16:45-16:55）

**\*注：プログラムは、諸般の事情により変更する場合がございます。**

---

5. 参加申込：以下のURLもしくはQR経由でお申し込みお願い致します。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=hBBmtBs56ECNVV0ibkKWZW48oMcoUe7JFsFnWFE64KGBUOEyVDZKUKQ2Q1VFMDRLS0dERENUMIRXVC4u&r2083048e9e004686a99d6f09c3c21975=%22%E5%90%8C%E6%84%8F%E3%81%99%E3%82%8B%E3%80%82%22>



申し込み締め切りは4月9日（木）です。

**※出来るだけ早いお申込にご協力戴けますと助かります。**

以下、ご注意とお願いです。

- ・ 申込は代表者がお申込の場合も参加者全員分の入力をお願いします。
- ・ 講演資料は、約1週間前にHP会員ページにアップします。
- ・ 参加費は当日の会場受付にて現金でのお支払いをお願いいたします。その際に紙の領収書をお渡しします。
- ・ ご不明な点がございましたら事務局までご連絡願います。

光学薄膜研究会 事務局 今枝 ( [otfcom@otfse.org](mailto:otfcom@otfse.org) ) 宛

以上

## 機械振興会館へのアクセス

- ・ 東京メトロ日比谷線神谷町駅下車 徒歩 8 分
- ・ 都営地下鉄三田線御成門駅下車 徒歩 8 分
- ・ 都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅下車 徒歩 10 分
- ・ 都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅下車 徒歩 10 分
- ・ JR 浜松町駅下車 徒歩 15 分

